

ノリ養殖情報(第17報)

2022/2/3

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

- 今回の調査は17回目です。
今年度の調査は、陸上調査を月に3~4回の合計20回を予定。

1. 調査結果

調査日: 1月31日(月) 天候:晴 気温: 9.1°C(13:10 時点)

(今回(1/31)の水温等の測定時間帯 13:05~15:30) ※前回と調査時間帯が異なります。

(前回(1/24)の水温等の測定時間帯 6:05~8:15)

調査点		水温 °C		比重 σ15	栄養塩:無機態窒素 μg-at/L		クロロフィルa (mg/m ³)	病害 検鏡結果	
		今回	前回 1月24日		今回	今回		前回 1月24日	今回
1. 長崎鼻	支柱	9.7	8.5	21.4	4.5	12.3	1.7	+	+
2. 神代	支柱	10.1	8.5	21.8	4.6	17.7	0.8	+	++
3. 土黒	支柱	10.6	8.5	20.6	16.3	9.2	1.1	/	/
4. 多比良	支柱	13.6	8.7	22.0	9.7	17.7	1.3	++	++
5. 大野浜	支柱	11.8	9.2	22.2	14.3	12.3	1.5	なし	++
6. 三会	支柱	11.9	9.9	22.8	10.8	36.0	1.1	++	なし

※栄養塩の期待値は7.0 μg-at/L以上です。

※アカ、ツボ: なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

● 主な植物プランクトン (単位:細胞/ml)

植物プランクトン (優占種)	小型珪藻	大型珪藻	
	スケルトネマ属	コンディイカス属	リゾソレニア属
1. 長崎鼻	45	0	3
4. 多比良	2	1	0
5. 大野浜	14	2	0

● 調査結果概要

- ・水温は9.7°C~13.6°C。海水比重(σ15)は20.6~22.8でした。
- ・漁場に設置している温度計の1月24日から1月31日迄の測定結果は、平均温度は8.2~9.3°Cで、昨年より0.0~0.8°C低く推移しました。
- ・栄養塩は、4.5~16.3 μg-at/Lで、6地点中4地点でノリ養殖における期待値7.0 μg-at/Lを上回りました。
- ・ツボ状菌は、神代・多比良・大野浜で肉眼レベル、長崎鼻で顕微鏡レベルが確認されました。
- ・あかぐされ病は、多比良・三会で肉眼レベル、長崎鼻・神代で顕微鏡レベルが確認されました。
- ・植物プランクトンはスケルトネマ属(最大45細胞/mL)が優占していました。

2. 赤潮発生状況

- 佐賀県:白石町地先から鹿島市地先にかけて、キートセロスによる着色域が確認されていますが、細胞数は1月28日調査時よりも減少傾向です(2月1日)。

3. 他県の情報

- 福岡県:あかぐされ病が19点中10点(中度1点、軽度9点)、壺状菌病が19点中7点(中度3点、軽度4点)で確認されました(1月28日)。
- 佐賀県:あかぐされ病が20点中20点(顕微鏡レベル12点、肉眼視レベル7点、流出直前レベル1点)、壺状菌病が20点中5点(全て顕微鏡レベル)、色落ちが22点中13点(レベル1~4)で確認されました(1月31日)。
- 熊本県:あかぐされ病が23点中1点(軽度)で確認されました。珪藻(リクモフォラ)の付着が多くの網で見られました(1月27日)。

4. 本県の情報

- 浮き流しと支柱で摘採が行われています。
- 葉長は35.4~169.4mmの範囲で、平均は47.8~111.7mmでした。
- 1漁場でやや色調が低下していました。
- ノリ網の検鏡結果
 - ・あかぐされ病が4漁場で、ツボ状菌が4漁場で確認されました。
 - ・付着物は珪藻(リクモフォラ、タビュラリアなど)、吸管虫類が確認されました。